

キャリア形成プログラム

(救急・集中治療医学教室)

取得を目指す専門医資格	救急科専門医
-------------	--------

【コースの概要】

全体像

救急科専門医取得コースでは、2年間の初期臨床研修の後、3年目は救急外来を3ヶ月、ICUを6ヶ月、残りの3ヶ月を外来・ICU・HCUのいずれかを選択し研修を行い、救急医療についての理解を深める。

4・5年目は、南和歌山医療センター救命救急科で研修を行う。南和歌山医療センターでは各科と密接な連携をとり、自身が興味を持った分野の研修を併せて行う事も可能である。5年目終了時点で救急科専門医の受験資格を得ることができる。

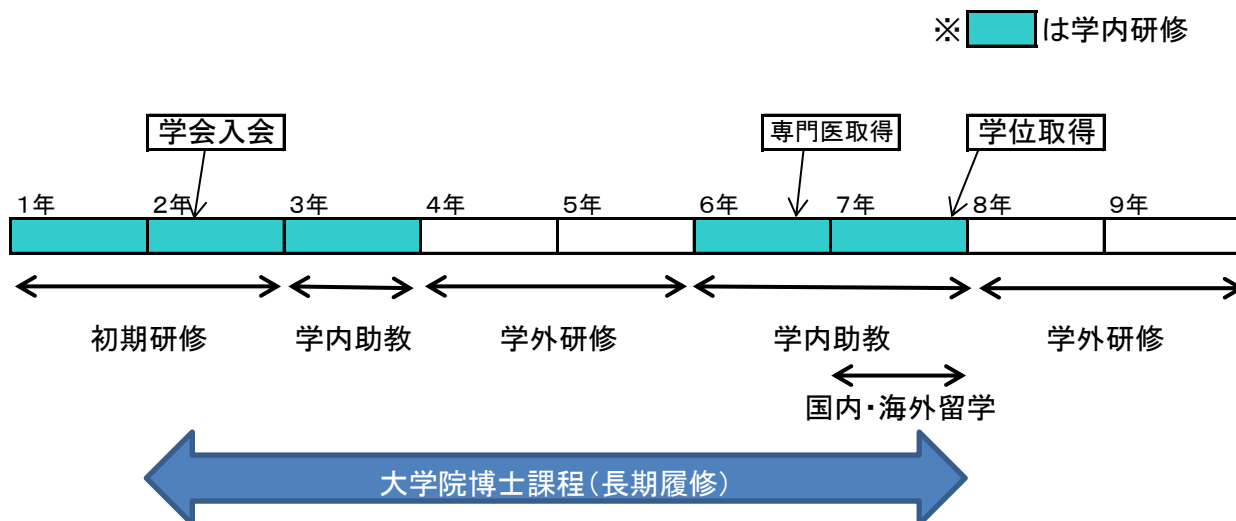
6・7年目に大学で研修を行う際には、ICUかHCU・救急外来を選択する。6ヶ月単位で勤務をローテートすることも可能である。希望があれば、研究のための海外留学やサブスペシャリティーを目指した国内留学も7年目に考慮する。また、OJTを経てフライトドクターとして活躍することも可能である。

8・9年目は、再び南和歌山医療センターで後輩の指導にあたりながら研修を行い、救急医学会指導医をめざす。

10年目以降は、大学もしくは南和歌山医療センターあるいは和歌山県内病院の救急部門立ち上げのために尽力してもらう。

1から3年目までに大学院に入学し、社会人大学生として研究をはじめ、7年目終了時に卒業できるように配慮する。

・9年間の研修予定(モデルコース)



指導体制

・研修先病院

学会認定施設	研修病院名	診療科	指導者数 (人)	うち専門医 数(人)	受入可能最大 人数(人)
○	国立病院機構南和歌山医療センター	救急救命科	3	2	2

・専門医について

学 会 名	日本救急医学会
資 格 要 件	<ol style="list-style-type: none">1. 日本国の医師免許を有すること。2. 申請時において、継続して3年以上本学会の会員であること。3. 5年以上の臨床経験を有すること。4. 専門医指定施設またはこれに準じる救急医療施設において、救急部門の専従医として3年以上の臨床修練を行った者であること。または、それと同等の学識、技術を習得した者であること。

キャリア形成プログラム

(救急・集中治療医学教室)

取得を目指す専門医資格	集中治療専門医
-------------	---------

【コースの概要】

全体像

集中治療 (ICU) 専門医取得コースでは、2年間の初期臨床研修の後、3年目は救急外来を3ヶ月、ICUを9ヶ月の研修を行い、集中治療についての理解を深める。

4・5年目は、南和歌山医療センター救命救急科で研修を行う。南和歌山医療センターでは各科と密接な連携をとり、自身が興味を持った分野の研修を併せて行う事も可能である。5年目終了時点で救急科専門医の受験資格を得ることができる。救急科専門医は受験資格の別表1-2に該当する。

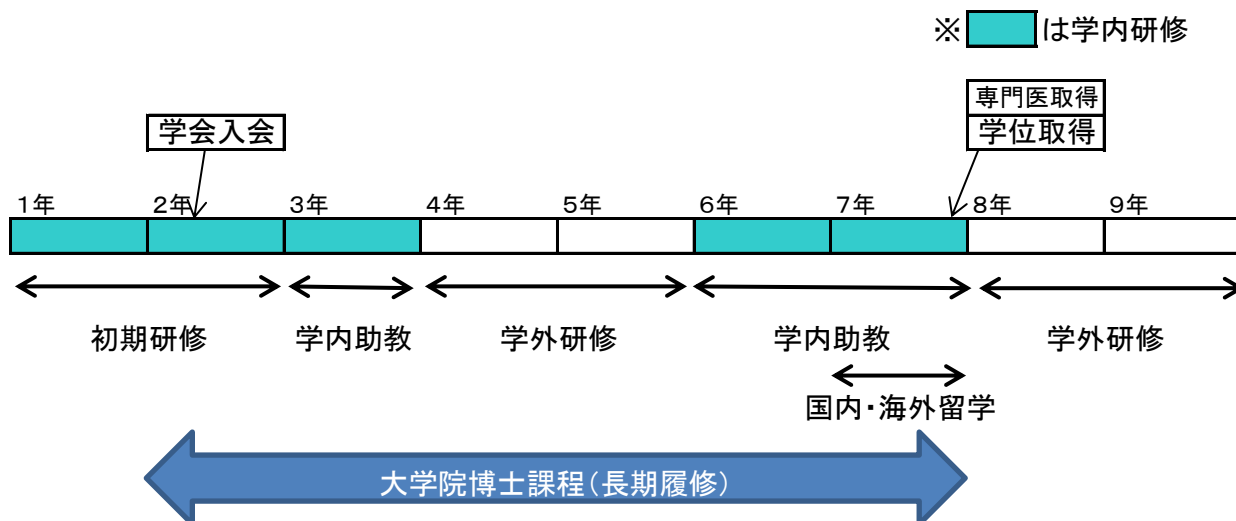
6・7年目に大学ICUで研修を行う。希望があれば、研究のための海外留学やサブスペシャリティーを目指した国内留学も7年目に考慮する。しかしICU専門医の取得は遅れ、10年目以降となる。また、OJTを経てフライトドクターとして活躍することも可能である。

8・9年目は、再び南和歌山医療センターで後輩の指導にあたりながら研鑽を積む。

10年目以降は、主に大学ICUで勤務し、専門医を取得後には、和歌山県内病院のICU部門立ち上げのために尽力してもらうこともある。

1から3年目までに大学院に入学し、社会人大学生として研究をはじめ、7年目終了時に卒業できるように配慮する。

・9年間の研修予定 (モデルコース)



指導体制

・研修先病院

学会認定施設	研修病院名	診療科	指導者数 (人)	うち専門医 数(人)	受入可能最大 人数(人)
×	国立病院機構南和歌山医療センター	救急救命科	3	0	2

・専門医について

学 会 名	日本集中治療医学会
資 格 要 件	<p>1.(甲)一般社団法人日本集中治療医学会(以下、日本集中治療医学会)の認定する集中治療専門医研修施設において5年以上、専従していること。</p> <p>2.(乙)別表1-1に指定する専門医(あるいは認定医等)の資格を有し、日本集中治療医学会の認定する集中治療専門医研修施設において通算2年以上の勤務経験を有すること。</p> <p>3.(丙)別表1-2に指定する専門医(あるいは認定医等)の資格を有し、日本集中治療医学会の認定する集中治療専門医研修施設において通算3年以上の勤務経験を有すること。</p>